



2022年2月9日

各 位

会社名 豊トラスティ証券株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 安成政文  
 (コード番号: 8747、JASDAQ)  
 問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之  
 (TEL. 03 - 3667 - 5211)

## 2022年3月期第3四半期累計期間の連結業績見直しに関するお知らせ

2022年3月期第3四半期累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期第3四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位:百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第3四半期連結累計期間速報値 (2022年3月期第3四半期累計期間)(A)	4,581	4,566	767	850	501
前年同期実績 (2021年3月期第3四半期累計期間)(B)	4,243	4,225	333	409	303
増減額(A-B)	338	341	434	440	197
増減率(%)	8.0	8.1	130.5	107.4	64.9
(参考)2021年3月期実績	5,891	5,868	605	699	536

## 2. 差異が生じた理由

## 連結業績見込み

2022年3月期第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による影響が長期化する中において、12月の日銀短観にて発表された業況判断指数(DI)は、大企業製造業においては海外需要の強さや供給制約の緩和が下支えとなり高水準で推移しております。また、大企業非製造業においても活動制限の緩和によるサービス消費の持ち直しを受け宿泊、外食サービスや対個人サービスのDIが大幅に上昇したことにより、2019年12月調査以来の水準を回復しております。先行きの経済は、資源価格の高止まりや新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大による活動制限の再強化による景気腰折れの懸念があるものの自動車生産の持ち直しとサービス消費の回復を背景に外需内需ともに高成長が実現する見通しであります。

一方、世界経済は、米国では労働供給の回復が遅れる中において、12月の米国供給管理協会(ISM)景況感指数は製造業、非製造業ともに高水準を維持し、企業の景況感は堅調を持続し、個人消費も住宅関連がけん引役となり堅調を持続しております。中国では2021年の夏場にペースダウンしたものの秋から持ち直し、外需が好調を維持し個人消費も底堅く推移しております。先行きは米国においては貯蓄の取り崩しや住宅価格の上昇などに伴う資産効果が下支えとなり個人消費が堅調に推移し景気回復が持続することが予測され、中国においても政府主導のインフラ投資や国有企業による固定資産投資など政府関連投資の拡大が後押しとなり景気回復が持続する見通しであります。

このような環境のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の商品デリバティブ取引の総売買高1,027千枚(前年同期比6.8%減)及び金融商品取引の総売買高3,012千枚(前年同期比158.0%増)となり、受入手数料4,358百万円(前年同期比6.5%増)、トレーディング損益209百万円の利益(前年同期比57.7%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は営業収益4,581百万円(前年同期比8.0%増)、純営業収益4,566百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益850百万円(前年同期比107.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益501百万円(前年同期比64.9%増)を計上する見込みであります。

以 上